



2050年の携帯電話って どうなってるんだろ？

総合通信基盤局電波部
移動通信課長

中村 裕治 NAKAMURA Yuji

- 平成 7年 4月 郵政省採用
- 同 大臣官房人事部能力開発課
- 平成 7年 7月 同 電気通信局電波部移動通信課
兼 マルチメディア移動通信推進室
- 平成 9年 7月 同 大臣官房人事部人材開発課
- 平成 10年 7月 同 大臣官房総務課審議室主査
兼 組織再編準備室主査
- 平成 12年 7月 同 大臣官房総務課審議室政策評価係長
- 平成 13年 1月 総務省情報通信政策局技術政策課総合調整係長
- 平成 14年 8月 内閣府政策統括官(科学技術政策担当)付
参事官(資源配分担当)付参事官補佐
- 平成 16年 7月 総務省総合通信基盤局電波部移動通信課課長補佐
併任 新世代移動通信システム推進室室長補佐
- 平成 19年 5月 外務省在ジュネーブ国際機関日本政府代表部一等書記官
- 平成 22年 6月 総務省総合通信基盤局電波部電波政策課統括補佐
- 平成 23年 7月 同 情報通信国際戦略局融合戦略企画官
- 平成 26年 8月 同 情報流通行政局総務課調査官
併任 情報流通振興課情報セキュリティ対策室
- 平成 27年 8月 同 総合通信基盤局電波部移動通信課
新世代移動通信システム推進室長
- 平成 29年 7月 同 総合通信基盤局電波部電波政策課
電波利用料企画室長
- 令和 元年 7月 同 総合通信基盤局電気通信事業部
電気通信技術システム課長
- 令和 2年 7月 内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)参事官
- 令和 4年 6月 現職



2023年3月 東京マラソンに参加した筆者

大いなる志があったわけでもなく

1985年、一般向けの初めての携帯電話である「ショルダーフォン」が誕生しました。重さは実に3kg、月額の基本料金は2万円以上、通話料金は1分100円でした。1991年には230gにまで軽量化された携帯電話(ムーバ)が発表されました。1989年に大学に入学し、電波・通信の勉強をかじっていた私にとって携帯電話の登場は衝撃的でした。その後、学会で「FPLMTS」という難解な用語(※ネットで調べてみてください)に触れて、漠然と「通信って面白くなりそう」くらいの感覚を持って郵政省の門をくぐることになったのが1995年。そのまま、なぜか「移動通信課」という部署に配属になり公務員生活がスタートしました。

それでもなんとかなるものです

公務員生活では本当に様々な経験をさせていただきました。省庁再編(2001年)に携わった際には、法令の仕組、定員要求や組織要求など公務員としての基礎を身につけることが出来ました。外交官としてジュネーブに赴任した際には、色々な外国政府の関係者はもちろんですが、外務省のほか様々な省庁からの出向者と接することで、多様な考え方に触れて公務員としての幅を広げることが出来ました。内閣官房に出向した際には、民間企業から派遣された人達と協力して、東京オリパラ大会のサイバーセキュリティ確保に奔走し、我が国の民間企業の底力を再認識することが出来ました。すべての経験で共通して言えるのは、必ず助

けてくれる人がいたということです。厳しくも愛情を持って叱ってくれる上司が、そして、責任感を持って業務に取り組んでくれる部下がいました。心配は尽きないと思いますが、一般的な常識があれば、なんとかなるものです。

2050年のケータイの話をしませんか

さて、私の入省のきっかけとなり、皆さんにとっても最も身近なツールであろう携帯電話は、これからどうなっていくのでしょうか？とある報告書では、「2050年には、スマホやPCの普及率が0%になる」との予測もあります。スマホは無くなって「ハプティクス」が一般的になっているのでしょうか？2050年、これを読んで下さっている皆さんは、概ね今の私のようなポジションになり、情報通信行政の舵取りの

一端を担っているはず。将来の携帯電話との付き合い方を決めるのは皆さんです。さあ、2050年のケータイの話をしませんか。

若手職員の声



総務省総合通信基盤局
電波部移動通信課

高辻 真太郎
(令和4年入省)

移動通信課は、携帯電話・アマチュア無線等の無線局の許可をはじめとして、携帯電話等のエリア整備やITS(高度道路交通システム)の推進など移動通信システムに関する幅広い業務を担っています。私自身も入省してから、無線局の免許に関する業務や制度整備など様々な業務に携わりました。専門的で難しい内容も多いですが、日々やりがいを感じています。中村課長は朗らかな方で、お忙しい中でも職員のワークライフバランスにも心を配ってくださいます。そのため、課内は明るく風通しがよく、課一同、個性と能力を発揮して業務に取り組んでいます。

PROJECT モバイル通信の 普及・高度化

移動通信課では第5世代移動通信システム(5G)の普及・高度化を進めています。例えば、増大する5Gニーズに対応するために5G用の周波数の割当を行い、また、日本全国で5Gの基地局が着実に設置されるように携帯電話事業者の取組への支援を行っています。携帯電話に加えて、列車用の無線、ドローン用の無線、アマチュア無線、自動運転用の無線(レーダ等)などの社会を支えるインフラにおいて、電波が正しく使われるようにルールづくりなどを行っています。